



ZeeM 会計 導入事例

伊藤製パン株式会社

約 1,000 名の業務を支えて、年次/月次決算業務の効率化、部門別/工場別損益の徹底管理、経理業務の標準化を実現

伊藤製パン株式会社(以下、伊藤製パン)は、各種パン・和菓子・洋菓子・調理パンの製造および販売を手掛けると共に、関東一円でインスタペーカーを展開している。日本では一番早くイーストの工業化を図り、家内工業品から工業製品として量産の礎を築き上げた老舗企業で、2010 年 7 月には創業 90 周年を迎えた。

今回、同社の経理部 経理課は、「年次/月次 決算業務の効率性」「部門別/工場別損益管理の徹底」「業務の標準化」などの業務改革のために ZeeM 会計を導入。決算データを迅速・正確に提供することで、経営と業務管理の品質向上に貢献している。

同社 経理部 経理課 課長 酒井俊也氏に、業務改革について詳しいお話を伺った。

『2010 年 7 月に創業 90 周年を迎えた当社は、頭脳パンやデリカテッセン・ホテルブレッドなどを「イトーパン」ブランドで展開しています。現在、従業員数はパート・アルバイトを含め、約 1,000 名。埼玉県岩槻市の本社事務所のほか、岩槻と東京都砂町に工場、神奈川県厚木市に営業所、関東一円で約 40 店の直営店があります。

パン市場が、消費者のライフスタイルの変化と、食の安心・安全への意識の高まりに加えて、パンの原材料となる小麦などの価格上昇といった課題を抱えるなかで、当社は、原材料の厳選、在庫管理・生産管理の徹底など、品質・価値訴求を高める取り組みを推進しています。

当社の経理部は、お客様からの受注や入金業務を行う業務課、システム運用を行うシステム課、そして全社の決算業務と一部の小口出納関連業務を行う経理課の三課で構成されています。経理課のスタッフは、私を含めて 6 名です。

経理課として、経営者や各部門に対して、経営と業務管理の指標となる年次/月次決算データを迅速・正確に提供したいと考えています。それによって、部門別/工場別損益の管理などの一層の徹底を、支えていきたいと思っています。

一方、そうした決算データの作成に、多くの時間と手間がかかっているのも実情です。まだまだ業務効率向上の余地があると考えていました。業務運用についても、決算業務の一部が属人化によって硬直化しており、これを解消していく必要がありました。』(酒井氏)

経理課の業務改善テーマ

- ・年次/月次 決算業務の効率性向上
- ・部門別/工場別損益の徹底管理
- ・決算業務の属人化解消

伊藤製パンは、このような業務改革の実現のための経理業務基盤としてクレオの ZeeM 会計を導入。2010 年 2 月から経理業務基盤として活用をスタートさせた。

●年次/月次 決算業務における効率性を向上

『これまでは、決算データの作成には、煩雑な手順を要していました。まずシステム課で必要なデータを抽出してもらい、それから経理課でデータ加工していました。システム課

伊藤製パン株式会社
経理部 経理課
課長
酒井俊也氏



では Access の、経理課では Excel のそれぞれ VBA マクロを使う必要があるなど、作業が煩雑であるために、予算と実績の比較や分析などに活用できるレベルにまでデータを整えるのに、半日以上かかっていました。データの内容やその抽出方法に不備を発見した場合に、その時にシステム課の担当がいなければ、データの再抽出が遅くなったり、システム課の多忙期には、データ抽出が後回しになってしまうなど、柔軟かつタイムリーな運用が難しいという課題を持っていました。組織変更が行われるたびに、経理課からシステム課へ部門名の登録や変更について要望を出す必要があるといった課題もありました。

今回、ZeeM 会計の導入によって、経理課は、必要なデータを自分たちで抽出できるようになりました。データの修正や組織変更にもシステム課の手を煩わせることなく対応できるようになりましたし、決算データの作成も標準機能を活用して数十分で行えるようになりました。』(酒井氏)

『ZeeM 会計の導入効果として、伝票入力ミスの低減による業務効率向上も挙げられます。

以前は当社でも紙伝票による業務運用を行っていました。経理情報を過去にさかのぼって調べたい場合には、膨大な量の過去伝票を一枚一枚めくって調べる必要がありました。会計システムの導入後は、システムに備わっている条件抽出機能などで必要なデータを素早く探せるようになりました。情報の確実な検証が可能となったことで、経理データのトレーサビリティが確保できるようになったわけです。

一方で、伝票の入力ミスなどが業務効率化の課題となっていました。例えば、製造部の社員が消耗品を伝票入力する場合、製造部ではなく、販売部にひもづく消耗品を選んでしまう、というケースです。入力ミスによる手戻りが発生し、経理スタッフはチェック作業

Company Profile

伊藤製パン株式会社

本社所在地：埼玉県さいたま市岩槻区末田
2398-1

設立：大正 9 年 7 月 1 日

資本金：4 億 8 千 500 万円

Web：<http://www.ito-pan.co.jp/index.htm>

に手間と時間をとられてしまい、業務効率を上げていくのが難しくなっていました。

ZeeM 会計のおかげで、「製造経費」「販売管理経費」といった項目が、伝票入力時点ですら所属分けされるようになりました。その経費が、製造部にひもづくのか販売部にひもづくのかを、システムが自動的に選択してくれますから、入力する社員は経費精算でややこしい判断をする必要がなくなりました。入力ミスが解消されたことで、チェック作業と入力ミス時の再入力が不要となり、経理課の業務効率が向上しました。』(酒井氏)

●管理会計データの柔軟な提供により、部門別／工場別損益の管理を支援

『ZeeM 会計は、データを柔軟に出力できる帳票機能を持っているため、各部門や工場ごとの損益管理の徹底にも効果を及ぼしています。』

これまででは、決算後に、各部門では自部門に関する詳細な経理データを容易に参照することができませんでした。各部門は月々の経費の増減などを思うように検証できず、部門別／工場別損益の管理や、業務改善の指標の策定が難しい状況でした。

ZeeM 会計の導入により、総勘定元帳や合計残高をエクスポートして加工することができるようになりました。これにより、総勘定元帳を費目ごとに集計し、どこ部署で補助費目をどのくらい使っているかを毎月出すことができます。さらに、それを横並びにして出力することで今月はどこの部門が多いかを把握できるようになりましたし、クロス集計を行うことで経費の内訳を把握できるようになりました。各部署でも、決算後の詳細データを参照して、月次の経費の検証などに利用しています。』(酒井氏)

●VBA マクロを不要にすることで、属人化業務を解消

『決算データの作成には、Access や Excel で VBA マクロを利用していました。Access の VBA マクロが使えるシステム課の担当者

にデータ抽出をお願いし、今度はそのデータと Excel で管理しているデータを、経理課で VBA マクロを使ってひとつにするといった使い方です。そのために VBA に関する知識を持つスタッフ以外は業務の代行が難しくなっていました。担当者が倒れたら月次の決算データの作成に支障が出るのではないかと、社長からも言われていました。

ZeeM 会計は業務で必要となる標準機能が充実しているため、VBA マクロによるデータ加工は不要になり、属人化業務を解消することができました。たとえば、標準で装備しているバーチャル決算機能を使うことで、システム課でのデータ抽出や、抽出データと Excel で管理しているデータをひとつにまとめる作業が不要になりました。ZeeM 会計では通常残高と決算残高を別々に管理でき、この決算区部をシミュレーションに活用することができます。前もって作成しておいたシミュレーションデータについて、帳票出力時に「含む／含まない」を選択できますから、権限を持つ経理課員であれば決算データを容易に作成できるようになりました。特別なトレーニングやプログラミングの経験・スキルも不要です。きちんとマニュアルを整備しておけば、ZeeM 会計を操作していくだけで、決算業務を継続していくことができそうです。』(酒井氏)

●現場から見た、会計システムに必要な条件とは？

『会計システムの選定には、5つのポイントが重要だと考えています。』

まず、業務適合性が高く、標準で備わっている機能だけで経理業務がきちんと行えることです。2つ目は、データ加工の過程がブラックボックス化しないこと。データをインプットしてからアウトプットするまでの過程について、権限を持つ経理課員であればきちんと把握できるということです。会計システムを導入した人間でなければ、どのようにデータが加工されているか把握できないのでは困ります。3つ目は、帳票出力がこちらの意図通りに確実・柔軟に行えることです。これは、管理会計や事業分析に欠かすことができないポイントです。4つ目は、充実した運用サポートを受けられること。たとえば、

問い合わせに対して、ソフトウェアの単なる操作だけでなく、経理業務と関連して回答してもらうといった具合です。最後のポイントは、コストパフォーマンスです。最初の業務適合性とも関係しますが、標準機能による導入費用が手ごろであって欲しいと考えています。多機能であっても、不要な機能ばかりで高価格では困りますから。お金を扱う部門としては、無駄に高いものを購入することはできません。

ZeeM 会計は、この全ての点で応えてくれました。業務適合性が非常に高いため、財務会計から管理会計までアドオンやカスタマイズすることなく標準機能だけで実現できました。データ加工プロセスのオープン性に関しては、システムの初期設定が Excel シートで行えますし、設定の確認や変更も容易です。帳票出力についても、バリエーションも豊富な上、科目並び順や、独自の集計科目、計算式の設定など、さまざまな方法で容易に集計が行えます。運用サポートについては、経理業務を熟知しているサポートメンバーが対応してくれます。私どもでは、月に4,5回はサポートセンターに電話しています。対応が迅速であるのはもちろんのこと、毎回こちらの意図をきちんと汲んだ回答をもらっているのも、安心して活用しています。コストパフォーマンスについては、その業務適合性の高さやサポートの充実度からも、十分に満足のいくものだと思っています。』(酒井氏)

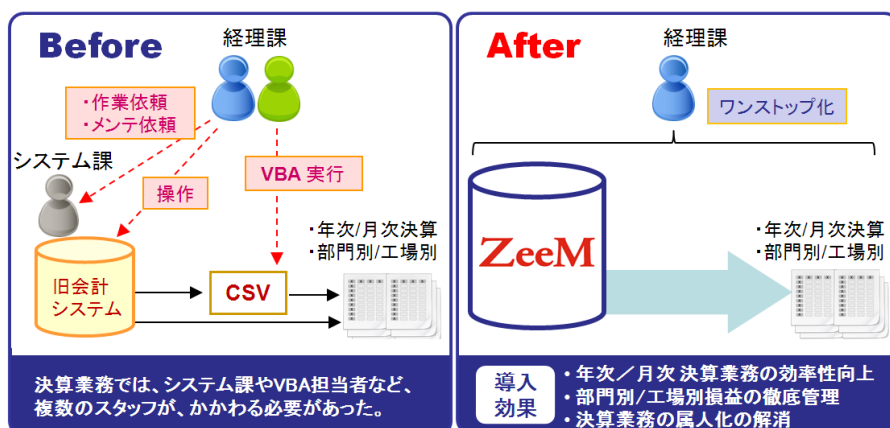
●伊藤製パン経理部経理課の今後の展望・抱負

『経理部経理課としては、今後も一層の業務効率化を推進して、より高次の業務を行える時間を確保し、経営者や各部門に向けた情報提供のさらなる充実化を図っていきたいと考えています。』

将来的には、経理の分析データと売上分析データとを結び付けて優良顧客の見極めを厳密に行うなど、より戦略的な活用を目指るのではないかと考えています。

業務効率化については、ZeeM 会計の操作／運用のマニュアル化を皮切りに、経理業務の業務標準化を推進していくつもりです。マニュアル化が進めば、ジョブ・ローテーションもやりやすくなります。システムに頼りきりにするのではなく、運用面からも属人化を解消していくことを目指しています。』(酒井氏)

伝票入力から決算書の作成までワンストップ化を実現



お問合せ
株式会社クレオ

〒140-0002

東京都品川区東品川 4-10-27

住友不動産品川ビル 12F

URL <https://www.zeem.jp/>

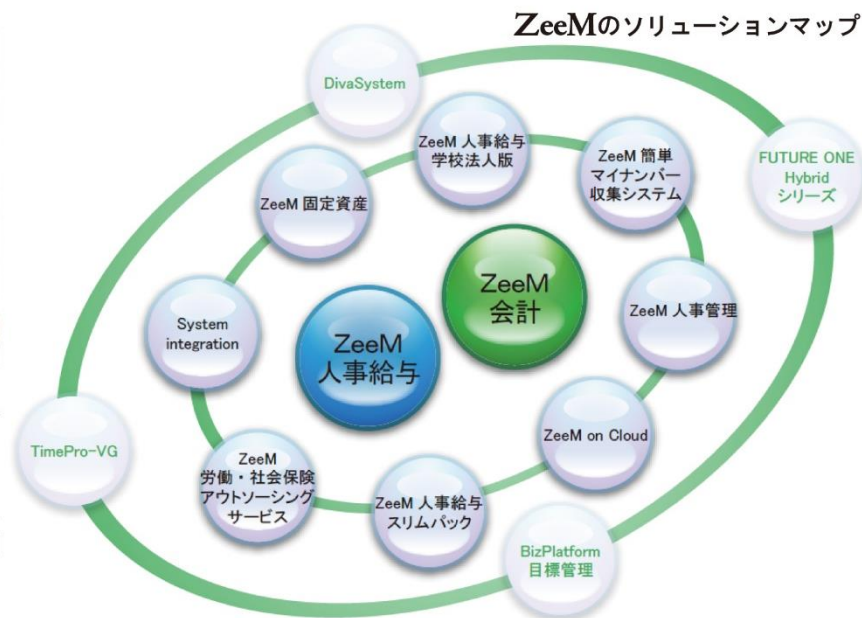
TEL 03-5783-3540

ZeeM for your smile ～お客様の笑顔のために～

企業を取り巻く環境変化のスピードは近年著しく早まっています。特に法改正といった大きなインパクトに対応しつつ、より付加価値を生み出すことを求めらる人事部門や経理部門にとって、ルーティン業務の効率化は必須と言えます。ZeeMは現場の業務効率とデータ活用による付加価値を追求していただける業務パッケージとして、人事部門・経理部門の業務を支援して参ります。



ZeeMは1993年から約2000社の導入実績を誇る人事給与システムと会計システムを核としたトータル業務ソリューションです。業務アウトソーシングからクラウドを活用したシステムアウトソーシングまで、幅広く人事部門様・経理部門様をサポートいたします。



ZeeMは顧客ロイヤルティ調査で最高評価を獲得しています

矢野経済研究所【調査概要】

矢野経済研究所では基幹システムの利用動向調査を実施、評価指標としてNPS※を用い、顧客ロイヤルティの測定を行いました。

調査件数：194件（ERPパッケージ利用、人事・給与部門の回答数）

調査対象：日本国内の民間企業及び自治体

調査方法：記名式郵送アンケート調査

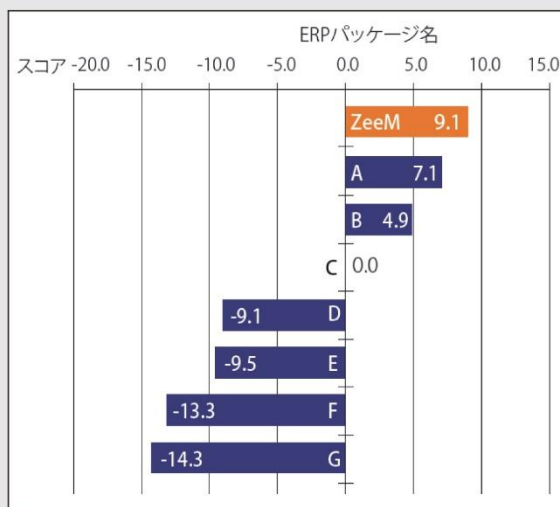
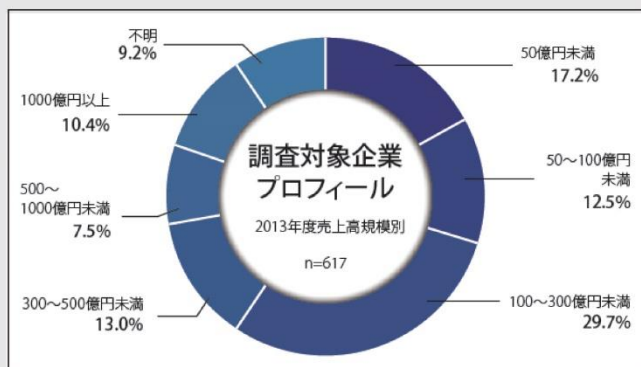
調査期間：2014年7月～2014年10月

調査条件：

・「人事・給与」「財務・会計」など業務分野ごとに利用しているパッケージのNPSを調査。

・矢野経済研究所が、ERPパッケージ（基幹業務を統合する情報システムを構築するためのパッケージ）と区分している製品を対象とし、一定数（10件）以上の回答数を得た製品間で比較。

※ NPS、Net Promoter、および Net Promoter ScoreはSatmetrix Systems, Inc., Bain & Company, Fred Reichheldの登録商標です



お問い合わせ



株式会社クレオ

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-27住友不動産品川ビル12F
URL <https://www.zeem.jp/> TEL 03-5783-3540 FAX 03-5783-3541